

⑫【新潟県厚生農業協同組合連合会 佐渡総合病院】

住 所	〒952-1209 新潟県佐渡市千種161		病床数：354床
診療科目	25科 内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、精神科、神経内科、外科、脳神経外科、小児外科、心血管外科、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科、口腔外科、形成外科、整形外科		
研修責任者名	佐藤 賢治（病院長）	連絡先：soumu@sado-hp.jp 0259-63-3121（代表）	連絡先担当者名：石田 禎（総務課）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：2人、24年度：1人、25年度：0人、26年度：1人、27年度：0人、28年度：2人、29年度：1人、30年度：2人、令和元年度：1人、2年度：1人 ・その他プログラム採用 平成23年度：9人、24年度：29人、25年度：30人、26年度：24人、27年度：24人、28年度：16人、29年度：28人、30年度：23人、令和元年度：17人、2年度：16人		
研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数	
必修：内科（循環器、消化器、呼吸器、腎透析、内分泌代謝、神経）、外科（消化器一般外科）、小児科、産婦人科 選択研修：整形外科、脳神経外科	内科2人、内科（循環器）1人、内科（糖尿病）1人、内科（消化器）1人、内科（腎臓）1人、内科（神経）1人、小児科2人、外科4人、産婦人科4人、整形外科2人、脳神経外科2人	内科2人、内科（糖尿病）1人、内科（神経）1人	
施設の概説・特徴			
人口約5万2千人の離島の中核病院で、一次から三次医療（高度な医療は島外の医療機関に紹介）まで行っている。医療連携室を立ち上げ、関連施設の訪問看護ステーションや老健とともに、前方および後方連携に力を入れ地域医療のニードに答えている。平成23年11月1日に新病院へ新築移転した。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：全ての専門医が揃っており、一部の症例を除き大多数の症例は院内で診療することが可能である。循環器はリハビリやPCIを積極的にやっている。呼吸器はSASの診断治療のシステムをいち早くつくり、実績を上げている。消化器では悪性腫瘍の診断治療はもとより、イレウスや胆石、胆嚢炎等の急性疾患を数多く取り扱っている。腎透析内科は約150人の透析患者を管理している。内分泌代謝は糖尿病以外に甲状腺疾患を数多く見ている。神経内科は平成18年度から3人体制となり、多数の脳血管疾患以外に変性疾患も扱っている。 外科◆：年間手術件数は約290件で、毎週、消化器内科、放射線科と丹念な検討を行い手術適応、術式などを決めている。症例は高齢で併存疾患を持つ患者が多く、周術期の管理に細やかな配慮が必要だ。面倒見のよい先輩医師の下で高齢者術後の管理の研修にはもってこいの環境と言える。 小児科：3人の常勤医が担当している。部長は感染症、免疫のエキスパートだが、若い医師の指導にも優れた能力を発揮している。 産婦人科：4人で、島内の分娩と里帰り出産の全てを見ている。年間分娩数は約290例。更年期障害や尿失禁手術、漢方治療等の診療にも力を入れている。 整形外科：島内では唯一の診療機関なので、骨折の患者は全て集まる。この環境を利用した研究が行われている。 脳神経外科：1人の常勤医が担当している。年間の手術件数は約40件で脳動脈瘤、脳出血などの血管障害以外に慢性硬膜下血腫、頭部外傷、脳腫瘍等の手術を行っている。			
研修の概説と特徴			
当院における研修の特徴は、急性期の疾患を初診から退院まで一貫して診療できることである。これは機能分化した大病院では経験できない研修であろう。研修医には可能な限りファーストエイドを経験するとともに、その後の全経過を経験することで、疾患の全体像とその中で急性期医療の在り方を学んでほしい。まず、見てほしい、経験してほしい。			
研修医の当直			
1年次は月2回程度、22時まで副直を行う。最初は主に見学。主当直医が可能と判断すれば、ファーストタッチも行う。2年次は上級医と二名体制、全科拘束でバックアップしている。			
処 遇			
●給与：1年次（月額）基本給350,000円、時間外手当（厚生連規程により支給）、離島手当100,000円 計（平均）600,000円程度 2年次（月額）基本給380,000円、当直手当19,400円/回、時間外手当（厚生連規程により支給）、離島手当100,000円 計（平均）670,000円程度 ●食事：昼、夕食は院内の職員食堂の利用が可能。 ●宿舎：借り上げ宿舎あり アパート使用料月5,000円以内（自己負担） 世帯用相談に応じます。 ●居室：研修医専用の居室あり。 ●図書・文献：約100種類の主要な和文、英文雑誌を購読している。文献検索も可能。 ●インターネット環境：各自の机からインターネットへの接続が可能。			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。
 ◆令和4年度当院での外科（必修）担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。